



私たちは、「米百俵の精神*」を受け継ぎ、社外の皆様と協力しながら、多く子どもたちに学校の枠組みを超えた教育の機会を提供することで、これからの社会づくりの担い手を育てることに取り組んでいます。

*米百俵の精神：戊辰戦争に敗れ焼け野原となった長岡に、三根山藩からの送られてきた米百俵。小林虎三郎はこの米を資金に国漢学校を設立し、多くの人材を育て上げたという史実の精神が長岡市の人材教育の理念となっています。

■ インターンシップ (SDGs教育、商品開発、実務訓練)

アクシアル リテイリングでは、仕事の実体験を通して企業活動の内容や社会的役割を知っていただく機会として、インターンシップの受け入れを行っています。プログラムも複数用意し、店舗でのマネジメント業務の体験、商品開発や、プレゼンなども体験することができます。

原信とナルスでは昨年、学生のニーズが年々高まっているSDGsに関する講義や演習も新たに導入し、当社の取り組みを紹介するだけでなく、学生の視点から新たなエシカル商品を検討する機会を設けました。また、本部従業員の一人として3か月という長期の実務訓練生の受け入れを行いました。



実務訓練

■ コラボラトリー

「米百俵の精神」で育まれた長岡の公立大学である長岡造形大学様と原信がコラボレーションし、同学の学生様の作品を公募、優秀作品を原信店舗のカフェコーナーで展示する企画「コラボラトリー」が2022年10月から始まりました。67名75作品の応募があり、デザイナーや学芸員の審査員の皆様による審査の結果16名13作品の優秀賞が選ばれ、長岡市内の原信古正寺店・寺島店・宮開店のカフェコーナーで展示を行っています。



展示状況

優秀賞受賞作品の一例ご紹介

長岡花火の3連作



祈り I



祈り II



祈り III

平和への祈りがテーマの長岡花火を、様々な色を使い世界中のすべての人々が平和に過ごせるようにという願いを込めて描きました。長岡市の小国和紙を日本画の絵の具で染めて、その上に版画で花火が浮かぶ夜空を黒で刷りました。長岡花火に込められた平和への祈りが今の世界中に届くようにと思いながら制作しました。

作者 長岡造形大学 大学院 南雲 まき様

■ 輝け!高校生プログラム

昨年に引き続き、原信が協賛する長岡市国際交流協会様主催「原信 presents 輝け!高校生プログラム~Youが明日のグローバルリスト~」を開催しました。

SDGsを通じて世界と長岡の課題を学び、違いや共通点に目を向け、自分にできることを考えていただく機会を提供しました。



輝け!高校生プログラム

■ 米百俵未来塾

原信では、次代を担う長岡の子どもたちが長岡の誇りを胸に、自らの力で未来を切り拓き、創り出すための学びの場である「米百俵未来塾」に協賛しています。小学生と中学生が学年や学校の垣根を越え、多様な分野について学ぶことを応援しています。

■ 公益財団法人 長岡社奨学会

原信では、新潟県の教育振興や県民福祉増進への寄与を事業目的とする長岡社奨学会の運営を支援しています。

学資貸与または給付のほか、地域の文化・教育・スポーツ・国際交流などへの資金援助も行っています。

長岡社奨学会



<https://www.harashinnarus.jp/nagaokasya/>

■ 河井継之助の想い御膳

原信では、7月下旬より期間限定で長岡名物「醤油赤飯」や原信ナルス名物「手作りおはぎ」などが入った「河井継之助の想い御膳」を長岡市内の店舗で販売しました。

平和のために奔走し、忠義を重んじた河井継之助の生き様そのものをより多くの方に知ってもらいたいという河井継之助記念館様の想いに賛同し、地域貢献の観点から、売上金の一部25万円を長岡市観光企画課を通じて、河井継之助記念館様に寄付しました。



売上金の一部を長岡市を通じて、河井継之助記念館様へ寄付



河井継之助の想い御膳と添付したしおり

